



# Samadhi® HERBAL OIL

{ サマディ ハーバルオイル } —————

香りや質感など、自分の”好み”だけではなく、  
体質に合ったオイルで、リラクゼーションより  
一歩進んだトリートメントオイル

質感もサラッと服にも付かず、香りも良く身体と顔の両方に使えます。  
自分の体質に合ったオイルで、自分を慈しむ時間として  
セルフトリートメントを行ってみてください。

※体質診断で、3つのバランスが同数な所がある方は、季節よっての使い分けを  
オススメします。春→カパオイル、夏→ピッタオイル、冬→ヴァータオイル

**アーユルヴェーダ・マッサージにおけるオイルの役割**

アーユルヴェーダでは、植物の力が健康と幸福を増進させると考えられており、植物の実や種から採ったオイルがマッサージの理想的な潤滑油となり、さらに純粋なエッセンシャルオイルと組み合わせることにより、心と体に効果的に働きかけていきます。アーユルヴェーダでは、それぞれ体質に合わせて使うオイルが変わります。

**All Natural Retreat**  
自然の恵みでオーラ肌へと導く美容オイル

【Samadhiとは】

サマディとは、サンスクリット語で”心を整える”という意味です。  
あなたの明日の輝きのために。  
自分を慈しむ時間にサマディをお使いください。

Produced by Ayurveda Beauty College

## 【成分特徴】

ベースオイル	
ヒマワリ種子油	ヒマワリの種子を低温圧搾して抽出されるオイル。ビタミンEを多く含み、全ての肌質に向くオイル。
アーモンド油	スイートアーモンドの種子(仁)を低温圧搾して抽出されるオイル。使い心地が良く、すべての肌質に向くオイルですが、重く温性のため特にカパが優勢の人、カパ体質にとって最適です。
ホホバ種子油	ホホバの種子を低温圧搾して抽出されるオイル。保湿度が高く、乾燥肌に向くオイル。軽性で浸透性が高いため、アロマテラピーのマッサージオイルの基剤としてよく用いられる。また、髪のカューティクルの保護にも適している。
ゴマ油	ゴマを低温圧搾して抽出されるオイル。抗酸化物質のセサモールが含まれていることで酸化しにくく、またビタミンやミネラルを豊富に含む。アーユルヴェーダでは毒素を排出するオイルとして美容や健康、病気の治療に用いられる。熱の質を持ち、温性で体を温める性質があり、皮膚への浸透性が高い。
オリーブ果実油	オリーブの果肉を圧搾して抽出されるオイル。粘性が高く、保湿効果が高く、肌への浸透性が良い。古くから美容や医療の分野で広く用いられている。オリーブ油は冷性で重い質。ピッタを鎮めるオイル。乾燥が出やすいヴァータ体質の方、皮膚の炎症が出やすいピッタ体質に用いられる。
マカデミアナッツ油	マカデミアナッツの堅果を低温圧搾して抽出されるオイル。人の皮脂にも含まれる脂肪酸を多く含み、皮膚への浸透性が高い。特に老化肌や乾燥絵肌に向くオイル。
アボカド油	アボカドの果肉を脱水して粉末にしたものから抽出されるオイル。ビタミンやミネラルを多く含み美容効果が高いとされる。重性で滋養があり、老化肌や乾燥肌に向くオイル。

エキス	
メリアザジラクタ種子油	メリアザジラクタ Melia azadirachta の種子から得られる脂肪油です。必須脂肪酸を含み、親水親油保護膜を回復し、肌にうるおいを与え、炎症を抑えます。抗菌性のある保護膜を作り、肌を健康に整えます。
パクチオール	アーユルヴェーダで用いられているインド原産のパクチの種子から抽出した植物由来の機能性原料。エイジングケア原料はレチノールがよく知られているが、肌への刺激や光、酸化、熱に対する安定性に課題があった。パクチオールは植物由来原料ながらレチノール様のエイジングケア効果を発揮し、光老化や加齢によるシワの改善作用や高い抗酸化活性を持つ。
サフランエキス	アヤメ科植物のサフランの花柱と柱頭から抽出して作られたエキス。成分は、カロチノイド配糖体のシロリン、苦味成分のピクロロシンやクロセチンを含んでおり、血行促進効果、皮膚細胞を活性化させる働きがあるので、皮膚のたるみやシワの加齢対策の化粧品に使われる。
ポスウェリアセラタ油	アラビヤからインドに自生するカンラン科ポスウェリア属の植物の樹皮から採取した樹脂から水蒸気蒸留法によって抽出した精油。ポスウェリアセラタは別名オリバナム、フランキンセンスとも呼ばれる。ポスウェリアセラタは老化した肌に新たな活性を与え、取れん作用から皮脂の分泌のバランスを調節してくれるため、年齢とともに起こるシミやシワなどが気になる方におすすめの成分です。

エッセンシャルオイル(精油)	
オレンジ果皮油	柑橘系の果皮から得られる精油。さっぱりとしたフレッシュな香りがあり、疲れや緊張を解きほぐす作用のある天然の香料。冷えた心と体を温かく包み込み、不安や孤独感による不眠症や抑うつ状態などに対して優しく働きかけます。
ラベンダー油	シソ科ラベンダーの花を水蒸気蒸留して得られた精油。自律神経のバランスを調整する働きがあり、ストレスや怒りを感じている心や、不安や心配を抱えた心を癒し、深くリラックスさせる効果があります。また、安眠効果があることも有名で、就寝前にもよく利用されている精油です。酢酸リナリル、リナロール、α-ピネン、シオネール、ロズマリン酸を含む。
ニュウコウジュ油	ニュウコウジュは、別名オリバナム、英語による呼称ではフランキンセンスとも呼ばれている樹木で、古代から大変貴重なものとして扱われ、ORIBANUM(乳香)は MYRRH(没薬)と並び最初に使われた薫香料として有名。スキンケア効果として細胞の働きを活性化し、肌にハリを出す保湿効果や肌を若返らせる活性効果があるといわれているアンチエイジングパワーの大きな精油。殺菌作用・消毒作用があり呼吸器系トラブルや感染症にもよくとされている。香りは、スパイスでウッディー。
ローズマリー油	ローズマリーの根葉や花から得られる精油。爽やかに清潔感のある香りで、「若さを取り戻すハーブ」や「記憶力を増進するハーブ」として知られている。強力な抗酸化成分を持ち、さらに血液循環を促す効果にも優れており、フケ予防効果があることからシャンプーなど頭皮のケア製品にも用いられる。
セイヨウネズ果実油	山林丘陵に生育する常緑のヒノキ科の針葉樹林のセイヨウネズの果実(杜松実)から抽出した精油。ジュニパーベリーとも呼ばれ、古くから強い殺菌作用と利尿作用を持つことで知られており、爽やかに明るい香りを放ちます。血行改善、取れん作用があり、ニキビ用製品などに使用されます。また、消毒剤や鎮痛、鎮痙などにも有効で、抗殺菌作用も発揮する。
レモングラス油	南アジアに広く分布するイネ科の植物レモングラスの葉および茎から得られるレモン様芳香のある精油。デオドラント効果に優れ、また抗菌や抗真菌(抗カビ)、鎮痛、抗炎症、精神安定および利尿などの作用もある。頭皮環境を改善に働きかける。
セイヨウハッカ油	シソ科植物のハッカ、あるいは同属植物を水蒸気蒸留して作られる精油で、成分は50%以上のメントールを含んでいる。爽やかな清潔作用があるので、さっぱりした感触の化粧品やカミゴミを防ぐ目的でシャンプー、ヘアローションなどの頭髮用化粧品に配合されています。
ニオイテンジクアオイ油	ゼラニウム油。ゼラニウムの花と葉から水蒸気蒸留で得られるオイル。鎮静、抗菌、消炎、取れん作用があるほか、皮膚のバランスを整える作用がある事から化粧品の原料として使用されています。血液の流れを改善する働きがあることから、頭皮の育毛環境を改善する効果が期待される。

その他	
トコフェロール	自然界に広く存在するビタミンEのことで、植物、藻類などの光合成生物によって合成される。トコフェロールの一番の特徴は、抗酸化作用があることで、肌の老化や肌荒れの原因となる活性酸素を除去し、お肌の老化を予防する。また、血行を良くする働きがあり、肌のターンオーバーを促進、お肌の健康を守るほか、製品の品質を守る酸化防止剤としての働きも持つ。

**発売元** 有限会社きぐち サマディ化粧品事業部 東京都世田谷区弦巻 4-3-13  
**お問い合わせ:** ☎0120-016-029  
**製造販売元** 綜美薬品株式会社 東京都葛飾区東立石 3-31-1

